

がんばろう！東北

記者発表資料

平成24年 3月 2日
東北地方整備局

東日本大震災を踏まえて 津波防災支援システムを強化します。 ～「東北における津波防災情報連絡協議会」開催～ 3月5日（月） ホテルJALシティ仙台

東日本大震災により、津波からの早期かつ適切な避難を促す情報や、発災直後の救援活動における津波再来襲警戒情報の重要性が明らかとなりました。これを踏まえて、東北地方整備局では関係地方公共団体等と連携し、GPS波浪計を活用した「津波防災支援システム」の強化を図ることとしました。

【協議会開催概要】

◆日時：平成24年 3月 5日（月） 11時00分～14時30分

◆場所：ホテルJALシティ仙台 2階 ローズ
(仙台市青葉区花京院1-12-12)

◆予定議事：
・東日本大震災を踏まえた「東北地方津波防災支援システム」のアンケート調査結果
・「東北地方津波防災支援システム」の改良と強化
・市町村における「東北地方津波防災支援システム」の活用方策

【添付資料】

◆地域防災における津波防災支援の活用イメージ・・・・・・・・資料-1
◆東日本大震災を教訓とした津波防災のあり方・・・・・・・・資料-2
◆協議会名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料-3

【取材】会議の撮影等は冒頭のみとし、以降は非公開とします。
会議終了後、記者説明を致します。

【発表記者會】宮城県政記者會、東北電力記者會、東北専門記者會

【問合せ先】国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 港湾空港防災・危機管理課
電話 022(716)0024

課長 佐藤 峰夫 【内線6421】
課長補佐 三浦 匠 【内線6422】

地域防災における津波防災支援システムの活用イメージ

資料-1



気象庁・津波警報

→ : 津波防災支援システムの活用による情報の流れ

津波防災支援システム

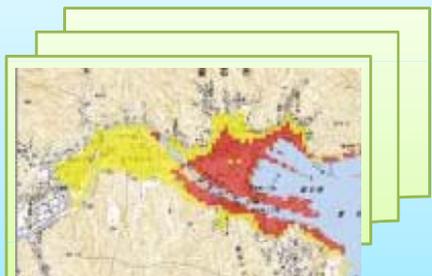
津波高さ・到達時間

(およそ沿岸到着10分前)

〔沖合津波観測情報〕 XX:XX現在
△△△沖GPS波浪計 1.0m

〔沿岸津波予測情報〕
◇◇市沿岸
予想津波高さ 3.0m
予想到達時間 XX:XX

津波浸水予測マップ



※予測情報はシステム講習会を受講した者へのみ配信

〇〇市災害対策本部

災害対策活動に応じた
的確な状況提供内容

(情報伝達の例)

リアルタイム沖合津波高さ

沿岸予想津波高さ

沿岸予想到達時間

津波浸水予測マップ

①避難等の情報伝達活動

- 広 報 車
- 防 災 行 政 無 線
- エ リ ア メ ー ル
- ケ ー ブ ル テ レ ビ
- ⋮

②現場での災害対応活動

- 消 防 関 連
- 町 内 会
- 学 校 関 連
- 病 院
- ⋮

③緊急避難先の管理活動

- 避 難 所
- 安 全 な 高 台
- 津 波 避 難 ビ ル
- ⋮

防災基本計画の修正

第3編「津波災害対策編」の新設
(H23.12.27 中央防災会議決定事項)

【第1章 災害予防より抜粋】

- ・最大クラスの津波に対しては、住民等の避難を軸とした総合的対策の構築
- ・徒歩による避難を原則として、地域の実情を踏まえつつ、できるだけ短時間で避難が可能となるようなまちづくり（津波到達時間が短い地域では、おおむね5分程度で避難が可能となるようなまちづくりを目指す）

東日本大震災からの教訓

(現行運用システムに係る課題)

避難時

- ・想定外の津波で使用出来ない避難所が発生。
- ・想定外のため訓練どおりの行動が取れず。

避難誘導時

- ・避難誘導者・消防団等に津波到達時間の情報提供が必要。

災害対策時

- ・停電により情報伝達手段が寸断。
- ・インターネット回線のバックアップが必要。
- ・計画的な水門閉鎖等の操作ができず。



衛星等を用いた
通信回線の複線化

津波防災支援システム

リアルタイム沖合津波高さ

沿岸予想津波高さ

沿岸予想到達時間

津波浸水予測マップ

連携

〇〇市災害対策本部

広報車

防災行政無線

エリアメール

ケーブルテレビ

消防関連

町内会

学校関連

病院

避難所

安全な高台

津波避難ビル

地域の津波防災に対する効果

①住民の避難を促す情報伝達を効果的に行える

【例】実際に沖合で発生した津波の随時情報により、住民自らによる避難を促すことができる。

【例】浸水予測範囲や予想到達時間の情報により、自治体は効率的な避難誘導の活動ができる。

【例】防災避難訓練に組み込むことで、実際の津波状況に即したスムーズな行動が可能となる。

⋮

②現場での災害対応活動を安全かつ効果的に行える

【例】津波到達時刻等の情報を伝えることにより、水門・陸閘の閉鎖作業等現地での災害対応活動に従事する者の安全を確保することができる。

⋮

③緊急に避難した住民の安全確保を確実にできる

【例】緊急避難場所で沖合で発生している津波の随時情報や浸水予測範囲を伝達することにより、避難者の自己判断による帰宅を防止することができる。

⋮

「東北における津波防災情報連絡協議会」

【 構 成 員 】

座 長	首藤 伸夫	東北大学 名誉教授
学識者	(五十音順)	
	今村 文彦	東北大学 大学院 工学研究科 附属災害制御研究センター 教授
	加藤 寧	東北大学 大学院 情報科学研究科 応用情報科学専攻 教授
	中村 功	東洋大学 社会学部 メディアコミュニケーション学科 教授
	阿部 郁男	富士常葉大学 社会環境学部 准教授
	河合 弘泰	(独) 港湾空港技術研究所 海洋・水工部 海洋情報研究領域 海象情報研究チームリーダー 領域長心得兼務
	富田 孝史	(独) 港湾空港技術研究所 アジア・太平洋沿岸防災研究センター 上席研究官
メンバー		
	草野富二雄	仙台管区気象台 技術部 地震情報官
	明石 龍太	第二管区海上保安本部 海洋情報部長
	岡 貞行	水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課 水産施設災害対策室長
	小寺 謙	青森県 総務部行政改革・危機管理監
	大澤 健治	青森県 県土整備部長
	加藤 主税	岩手県 総務部 部長
	若林 治男	岩手県 県土整備部 部長
	金野 純一	宮城県 総務部 部長
	橋本 潔	宮城県 土木部 部長
	佐藤 浩二	秋田県 総務部 危機管理監
	富田 耕司	秋田県 建設交通部 部長
	佐藤 和志	山形県 生活環境部長兼危機管理監
	鹿野 正人	山形県 県土整備部 部長
	荒竹 宏之	福島県 生活環境部 部長
	原 利弘	福島県 土木部 部長
	山田 守	釜石市 市民生活部 防災課 課長
	長沢 雅彦	宮古市 危機管理監 危機管理課 課長
	佐藤 悦郎	大船渡市 総務部 防災管理室 室長
	佐藤 健一	気仙沼市 危機管理課 課長
	梶原 康之	東北地方整備局 副局長
	川嶋 直樹	東北地方整備局 企画部長
	津田 修一	東北地方整備局 港湾空港部長
オブザーバ		
	戸田 鉄也	港湾局 技術企画課 技術監理室 専門官
	高橋 秀彰	港湾局 海岸・防災課 災害対策室 課長補佐
	尾崎 友亮	気象庁 地震火山部 地震津波監視課 津波予測モデル開発推進官
	平田 賢治	気象研究所 地震火山研究部 第一研究室 主任研究官